



なないろの思いをつなぐ  
架け橋でありつづけたい

Vol.38

- 会長あいさつ
- 2024春季労働条件闘争
- 2024年度活動報告

# 変革と挑戦を繰り返し、 実現力を高める時代に

## 2024年度を振り返って

### ■取り巻く環境

**こ** れまで3年以上にわたって、私たちの生活や仕事、組合活動に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の分類が2類相当から5類に移行し、いよいよ本格的にアフターコロナという社会の中で活動を進めていくという局面でのスタートとなりました。国内社会は加速度的に減少を続ける人口と労働力不足が問題です。経済の好循環に向けた生産性向上とこれを軸とした賃金の引き上げ、そして、国内外問わず待ったなしの状況にある地球温暖化対策などの地球環境問題に対応していく「GX」と、二酸化炭素など温室効果ガスの実質排出量をゼロにする「カーボンニュートラル」達成のための経済社会システム全体の変革への対応、労働環境においては急速に進展する「DX」対応にしっかりと取り組んでいくことが企業の存在、社会的価値に直結する時代となっています。国際社会では欧米先進国の需要回復とロシアによるウクライナ侵略が引き起こしたエネルギー・穀物価格の高騰などにより、世界的な物価上昇と為替の急激な変動が発生しました。この影響を受け、国内においても原材料価格やエネルギー価格が高騰し、昨年から明確な物価上昇局面となっています。このようにグループを取り巻く環境は、過去以上にスピードが加速しつつ大きく変化をしていくなかで、私たちが社会を構成する一員としてその課題解決に

向け、これまで以上に真剣に向き合わなければならない時代局面に置かれています。

### ■2024年度活動方針

## 2

024年度の活動スローガンは「勇往邁進〜両利き活動の実践による新たな道の創造〜」とし、変化が目まぐるしく、その対応にもスピードが求められるなか、時に厳しく苦しい決断を強いられることもある状況ですが、「勇往邁進」＝実現を目指す目標に向かって信念をもって、臆することなく一心に突き進んでいくこと、そしていつの時代も、様々な変化があっても、組織の原点にある考え方に立ち返りながら、未経験の境遇に探求心を持って取り組むという「両利き」の視点を持って活動に取り組んでいこうというメッセージを掲げました。

労連結成の主旨である加盟組織の自主・自立のもと、各種機関会議、階層別ワークショップやボランティア活動など、多くの活動への参加・参画をいただきました。次年度は2025 VISIONの最終年度となります。経年の取り組みが進化し、目まぐるしい変化に見舞われる時代に適応した取り組みとなっていくよう議論・協議を重ね、未来へつながる成果を得られればと考えています。

### ■次年度に繋げる2つの重点活動

## 1

つ目は「2024総合労働条件闘争」です。中央最低賃金審議会において、2023年度の最低賃金が大幅に

引き上げられるなど、賃上げが新しい資本主義の最重要課題と位置づけられた意向を汲む形となりました。一方で、企業経営における人件費の上昇が大きな負担になると、またその上昇分を価格転嫁していくことの難しさが指摘されるなど、懸念の声は挙がっているものの、昨年に引き続き一定の成果を得る結果となりました。単年度の取り組みに終わることなく、持続性のある賃上げ構造に繋げていけるよう、次年度以降も生産性を高めていくための「人への投資」の重要性について労使で認識を深めていくことが必要です。サプライチェーン全体で生み出される付加価値を適正に配分する仕組みづくりこそが、産業・企業ひいては日本経済全体の持続的な成長を可能なものとなります。今後益々、労働市場における人的・労働価値が高まっていく中、人材確保と同時に質の向上を図っていかねばなりません。個人と組織がエンゲージし合える環境づくりが将来的に大きな企業資産・財産となることを労使の共通認識とした上で、労働組合として目標を持って、継続的に取り組んでいきたいと思います。

2つ目は「政策実現に向けた活動」です。田村まみの再選への取り組みは、それ



会長 渡邊 健志



それが掲げた計画に沿って、取り組みを進めてもらっています。政治活動に関わらず、全ての組合活動で成果を挙げるために不可欠なことは、活動に対する目的や考え方を正しく理解する参画者を如何に広げることができるとあり、その事が多くの組合員の参加に繋がります。活動ひとつひとつに目標を持ち、組合役員や組合員の参加を通じて、多くの支援体制に繋げていくことにあります。ここ経年、取り組んできた活動をしっかりと次年度に繋げ実らせていくために、改めて目的と目標をしっかりと確認し、活動の推進力を高めていければと思います。

## 2025年度の活動に向けて

### ■セブン&アイ・ホールディングスが置かれる環境について

**グ** ループの2024年2月期決算は営業利益5,342億円(前期比105.5%+212億円)、EBITDA10,549億円(前期比106.0%+596億円)となり過去最高益となりました。今期の見込みは営業収益1兆1兆1,020億円と公表されています。グループの経営戦略としてはこれまで培ってきた「食」の強みを軸に、国内外コンビニエンス事業の成長戦略にフォーカスし、最適な経営資源の配分を実行しながら、「食」を中心としたグローバル・リテール・グループに成長することが、グループの中長期的な企業価値を最大化するものとしてあります。現行の中期経営計画に基づきつつ、戦略委員会の提言を踏まえた3つの領域での具体的なアクションプランとして：  
 ①事業セグメント毎の成長加速に向けた具体的アクションプラン、②長期的成長と企業価値を高めるグループ構造への移行、③投資家エンゲージメントの強化が示されました。その中でも2つ目に挙げられている企業価値を高める最適グループへの移行という方向性のなかで、SST事業の株式公開化(IPO)に向けた検討を開始する意向が公表されています。SST事業の

一部持分の継続保持およびCVS事業とSST事業の食品開発領域における協働体制の維持を前提とされながら、SST事業については、独自の財務規律のもとで成長戦略を強化する体制への移行が果たされると同時に、CVS事業はより一層CVS事業の成長戦略にフォーカスする構造となることが狙いとしてであると説明がなされました。明確な方針が打ち出され、評価、アップデートを繰り返しながら、グループは多くのステークホルダーとの共感経営を推進しています。それぞれの事業会社は、社会における存在価値をしっかりと定め、浸透させ、マンパワーを最大限に発揮できるよう取り組んでいかなければなりません。従前以上に労使による対話機会の設置や協議内容の質の向上が求められていくなかで、労連内における連携・連帯を強化し、引き続き活動に取り組んできたいと思えます。

### ■活動に取り組んでいく基本的な姿勢と考え方

**国** 内外問わず、環境変化は目まぐるしく、未だ加速しているようにすら感じます。改めて脳裏に浮かぶのは「不易流行」という言葉です。原点となる基本について、今一度立ち振り返り見つめ直しながら、大きな変化については立ち向かう挑戦への気概を持つこと、これこそが時代を超えて継承する私たちの精神であり、まさに「変化への対応と基本の徹底」だということです。そしてその行動変容を促す原動力は労使による対話であると考えています。

労使による生産性運動は「経済発展のためには生産性向上に関する労使の理解と協力が必要であり、その実現こそが企業と個人の経済的・社会的地位向上をもたらす」と定義づけられてきました。3つの原則として定められた「雇用の維持」「労使の協議と協力」「公正な配分」という考え方は70年近く立った今でも変わることはありません。経営の在り方や手法、資本や資産の対する考え方の変化、雇用形態の変容など、国内経済・社会そのものの成り立ちが変わっていくなかで、改めて生産性運動の考え方に立ち返り、労働組合の取り組みについても深く考える必要があります。何のための誰のための活動なのか、そのためにはグループや企業経営は何を実現しようとしているのか、それについて現場に起こっている問題や課題を、常に新鮮な情報として把握すること、関わる多くの人たちが正しい認識で行動を起こすことが肝要です。

次年度はより、労使対話に力点を置きながら、社会的に持続性のある賃上げ構造を作り上げていくこと、また日常的な政治活動、大きな目標を達成するための取り組みをプロセス・結果に拘り推進をしていきたいと考えています。グループ・事業会社ごとに、各級の協議や対話を通じて、各加盟組合の取り組みが推進力を高めていけるよう、労連活動の連帯を強めていきたいと思えます。引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# — 2024春季労働条件交渉を取り巻く情勢 —

## 1) 組合員の生活と労働条件

- ①消費者物価は足元で前年比3%程度の上昇を続けており、2023年度平均（生鮮食品を除く総合）では、日本銀行が2.5%、民間調査37機関平均が2.76%と見通している。食料品に加え外食や宿泊などのサービス価格も上昇基調にあり、2022年度に引き続き、2023年度の上昇率は3%程度に近く可能性がある。
- ②消費については、コロナ禍以降回復基調にあったが、2023年に入って物価上昇の影響をうけ実質消費の大幅な前年同月比減少が続いている。物価上昇下において特に低収入世帯が消費を抑制している。
- ③労働者の賃金は、2023賃金闘争の成果により名目賃金について一定の上昇をしているものの、物価の上昇が上回り、実質賃金はマイナスが続いている。
- ④一方、2023年の地域別最低賃金は全国加重平均で4.5%の上昇となった。そして、政府は、2023年10月の改定後1,004円となる全国加重平均を2030年代半ばまでに1,500円とする目標を掲げた。11月にまとめた経済対策では持続的賃上げが柱の一つに据えられている。また経済界からも、物価高に負けない賃金上げを構造的・持続的に実現することが重要であるとの発言が出ている。
- ⑤コロナ禍から経済活動が回復する中、企業の人材不足感は大きく高まりコロナ前を超えてきている。また、2023年度の有効求人倍率は1.3倍程度、完全失業率は2.5%程度で中期的にも労働市場は底堅い動きとなっている。
- ⑥2023賃金闘争では8年連続パートタイマーの総賃上げ率が正社員を上回るなど雇用形態間格差の是正は一定程度進んでいる。しかし、企業規模間の格差は拡大し、産業間格差も明確に縮小させることができなかった。

## 2) 経済・産業の状況

- ①2023年度のGDP成長率は実質で1.5%程度と、2022年度（1.4%）と比べ若干高い成長率が見込まれている。2024年度以降は1%強の予想となっている。
- ②企業業績は2023年度売上高が3.7%増、経常利益が7.0%増、純利益が7.6%増と、全体としては高水準が続く予想となっている。前年厳しかったサービス業が伸びる一方、倉庫・運輸関連業、化学などは営業減益を予想するなど、引き続きばらつきがみられる。
- ③2000年以降、時間あたりの実質労働生産性の伸びは年平均1%弱であるが、時間当たりの実質賃金はほぼ横ばいとなっており、実質生産性と実質賃金の乖離が大きくなっている。労働分配率は中長期的に減少傾向にあり、コロナ禍でいったん上昇したもののコロナ以降再び減少に転じている。労働者への配分が減少する中、2000年代を通じてフルタイム労働者中堅層の賃金が大きく低下するなどの課題が生じている。
- ④原材料価格の上昇を適正に製品価格に反映させるには価格転嫁が必要だが、コスト上昇分を全く価格転嫁できないとする企業が依然として2割強存在する。



## UAゼンセン(上部団体) 要求方針 ※賃上げ闘争の要求の考え方

- 1) 活力ある経済と生活向上を実感できる実質賃金の引き上げをめざす
- 2) 産業間、規模間、雇用形態間格差是正に積極的に取り組む
- 3) 企業内最低賃金の協定化を進める
- 4) 賃金体系維持分を明確にした要求を行う
- 5) 全組合員への物価上昇分以上の配分を基本とする
- 6) 「年取の壁」への対応をおこなう

### UAゼンセン中央闘争委員会スケジュールと労連機関会議

2023年		2024年	
6月13日	⑦労働条件委員会 フリー討議1	10月25日	②中央執行委員会 素案確認
7月21日	⑧労働条件委員会 フリー討議2 ※賃上げに関する学習会	11月 6日	2024政策フォーラム
8月31日	⑨労働条件委員会 素案討議1 ※要求基準討議	11月10日	③労働条件委員会 案確認
9月 6日	⑩三役会議 ※要求基準討議	12月 6日	③中央執行委員会 案確認
9月29日	①労働条件委員会 素案討議2 ※要求基準討議	12月22日	賃金要求作成セミナー
10月18日	②労働条件委員会 素案確認 ※要求基準確認		
		1月23日	中央委員会
		1月29日	賃金闘争促進セミナー



## ■各単組の要求・妥結内容

	24年度 【要 求】						24年度 【妥 結】					
	賃金改定要求合計		定期昇給		ベア・賃金改善		賃金改定妥結合計		定期昇給		ベア・賃金改善	
	昇給額	率	昇給額	率	昇給額	率	昇給額	率	昇給額	率	昇給額	率
イトーヨーカドー労働組合	15,128	4.13%	4,207	1.15%	10,921	2.98%	11,428	3.12%	4,207	1.15%	7,221	1.97%
セブン&アイ・フードシステムズ労働組合	16,806	5.25%	4,014	1.25%	12,792	4.00%	15,388	4.81%	4,014	1.25%	11,374	3.55%
ヨーク労働組合	16,197	5.00%	3,462	1.07%	12,736	3.93%	13,103	4.05%	3,462	1.07%	9,641	2.98%
全丸大労働組合	13,806	3.75%	3,725	1.01%	10,081	2.74%	11,368	3.09%	3,725	1.01%	7,643	2.08%
サンエー労働組合	16,071	6.16%	4,342	1.66%	11,728	4.49%	10,592	4.06%	4,342	1.66%	6,250	2.40%
ヨークベニマル労働組合	17,038	5.41%	6,953	2.21%	10,085	3.20%	15,079	4.78%	6,953	2.21%	8,126	2.58%
赤ちゃん本舗労働組合	14,228	4.69%	3,578	1.41%	10,650	3.51%	12,144	4.00%	3,578	1.18%	8,566	2.82%
ロフト労働組合	17,827	6.49%	-	-	-	-	13,827	5.01%	-	-	-	-
シェルガーデン労働組合	16,500	5.58%	2,367	0.80%	14,133	4.78%	9,098	3.10%	7,098	2.42%	2,000	0.68%

## ■ グループ労使協議会

開催日時	2024年 2月 5日 (月) 11:00~12:00	
会場	二番町本部会議室 (9階)	
出席者	(敬称略・役職は開催当時) <b>【会社】</b> セブン&アイ・ホールディングス 代表取締役社長 井阪 隆一 代表取締役副社長 後藤 克弘 取締役常務執行役員 経営推進本部長 伊藤 順朗 人事企画本部長 榎本 拓也	<b>【組合】</b> セブン&アイグループ労働組合連合会 会長 渡邊 健志 副会長 北山 淳 事務局長 小鷲 良平
内容	1. 2024春季労働条件交渉について 2. 今後のセブン&アイグループ労連 加盟組合 組合員の雇用労働条件に関わる対応について 3. 労使情報交換	

### 労使協議会の要旨

#### 1. 「2024春季労働条件交渉」について

##### 渡邊会長

我々の上部団体であるUAゼンセンも1月末に中央委員会を開き、5%を超える賃上げについて、加盟組合が統一して取り組むことを決定、確認された。国内では人口減少の影響が大きく、産業問わず人手不足が深刻化しているが、それを解消するためにも最低でも3%程度の賃上げが必要とされている。我々グループの国内小売業種に与える影響は大きく、その社会的な位置づけや責任は重いといえる。各企業の状況が重要である一方、国内経済を活性化していく役割があるということからも、今春闘における井阪社長のお考えもしくは姿勢を確認したい。

##### 井坂社長

営業利益が三期連続赤字でもキャッシュがあれば将来への先行投資という説明もつくが、純利益が三期連続赤字になるとシビアにならざるを得ない。そこから脱却するための中期経営計画であるし、実行するための厳しい施策を現場で実践している。進捗を確認すると計画よりも下振れしているものの、それでも今年度なんとか計画遂行できれば来年からは黒字回復ができるというような覚悟をもって臨んでいる。労働組合の皆さんにもこういった状況をご理解いただき、構造改革を成し遂げたいうえで来期の黒字化を実現し、分配させていただけるような、将来に向けた投資ができるような経営を目指していく。また、現在の経営状況を踏まえたいうえで、個々の事業会社が協議しつくした内容を尊重していきたい。

#### 2. 「グループ労使間における労働協約の締結について」

##### 渡邊会長

これまで、労使協議会のたびに「集团的労使関係」について対話を重ねてきた。取り巻く環境が過去と比較して、内容もスピードも様変わりしてきた中で、今までよりも一歩前進した協議をしていきたいと考える。現行の法的解釈では、労使関係が成立しないことは双方周知の事実だが、法を越えた信頼関係を構築することをグループの企業風土とし、今後発生する労務案件について、労使の対話により無理なく対応できる土壌とルールを作っていきたい。具体的には、正式な書面による協議や対話の申し入れや取り交わしが出来ればと考えている。

##### 井坂社長

労働組合が考えていることは会話を重ねてきたからこそ理解できるものがあると認識している。グループとしての形は変化してきているが、成長を続けるために変化している。経営を変化させようというときには皆さんと協議できるようにしていきたい。このことをお約束したい。

## ■ 経営政策ウェビナー

開催日時	2024年 6月17日 (月) 13:00~17:00	
会場	組合会議室 (第一麹町ビル)、Zoomを利用したリモート参加のハイブリッド開催	
講師	講師：ハンズオン・CFOパートナーズ株式会社 代表取締役 川井 隆史 様	
内容	1) はじめに 2) 経営者目線で考える i. 業績 (経営者目線) ii. 銀行目線 iii. 投資家目線 3) 人的資本経営 4) セブン&アイHDの大きな方向性とは 5) 個別生き残りのための経営者目線 6) まとめ	

## ■ グループ労使研究会

開催日時	2024年 6月21日 (金) 13:00~17:00 終了後に労使交流会を開催
会場	伊藤研修センター

### ■参加者 104名

組織名	組合参加人数			会社参加人数			組織計
	会場	ZOOM	懇親会	会場	ZOOM	懇親会	
IY	16	0	16	5	0	5	21
7FS	14	2	9	2	0	2	18
YO	9	0	9	—	—	—	9
MD	2	0	2	1	0	1	3
SAN	1	0	1	1	0	1	2
YB	7	0	7	1	0	1	8
AH	4	1	4	1	2	1	8
LFT	4	0	5	1	0	1	5
SHG	6	0	6	3	0	3	9
HLDGS	—	—	—	1	—	0	1
労連	2	0	2	—	—	—	2
講師	6	—	—	—	—	—	6
傍聴	—	13	—	—	—	—	12
計	70	16	60	16	2	15	104

### ■内容・スケジュール

時間	内容
12:30	受付開始
13:00 (10分)	開会 司会：セブン&アイグループ労働組合連合会 事務局長 小鷲 良平
13:10 (15分)	主催者代表挨拶 セブン&アイグループ労働組合連合会 会長 渡邊 健志
13:25 (45分)	【基調講演 第1部】 テーマ『人生100年時代の働き方と生き方 —プロティアン・キャリア理論—』 一般社団法人プロティアン・キャリア協会 代表理事 /4designs株式会社 代表取締役社長 CEO 有山 徹 様
14:10	休憩 (15分) ・参加者から質疑応答内容の集約
14:25 (20分)	基調講演 第1部 『質疑応答』
14:45	休憩 (10分)
14:55 (70分)	【基調講演 第2部】 テーマ①『労使による人権デュー・ディリジェンスへの 取り組みの重要性』 ILO駐日事務所 小林 有紀 様・鴨下 真美 様 テーマ②『人権デュー・ディリジェンスへの 労働組合の参画とUAゼンセンの取り組み』 UAゼンセン政策政治局 副本長 秋山 瞳 様
16:05	休憩 (15分) ・リモート参加者から質疑応答内容の集約
16:20 (20分)	基調講演 第2部 『質疑応答』
16:40	閉会 総括：(株) セブン&アイ・ホールディングス 代表取締役 副社長 伊藤 順朗 様



主催者挨拶：渡邊会長



基調講演第1部講師：有山様



基調講演第2部講師：小林様



鴨下様



秋山様



総括：伊藤副社長



労使研究会会場



乾杯：渡邊会長



労使交流会会場



中締め：五十嵐副会長

#### 1. 基調講演① についての感想

- ・キャリア形成の新たな考え方を知ることができた。組織内キャリアアップが幸福度につながるわけではないと考えてはいたが、具体的にどう考えればいいのかを知ることができたように思う。組合側としては組合員のキャリアの考え方をアップデートしていかなければと思うし、会社としても社員にたいしてどう示していけるか労使ともに考え方を変えていかなければと思う。
- ・現在構築しようとしている人事施策に活かすべきよい視点を得られた。様々な社員がいるので、画一的にならないよう参考にしたい。
- ・現在人事施策でキャリア申告制度を議論しており、組み立てていく中で非常に参考になった。

#### 2. 基調講演② についての感想

- ・労働組合に関わる立場として社内のハラスメントや長時間労働には当然関心があるが、サプライヤーについては考えた事がない。難しい課題だがSDGSにも関わり無視できない課題だからこ今後物流関連も含め意識したい。
- ・労働者の人材確保、ディーセント・ワークの実現に向けて、労働組合の位置づけが高まってきていること、未然防止、早期解決の重要性を認識することができた。これからも労使の対話と、組合員の声を聞き、それを会社に伝えることで、解決出来る労使関係を築いていきたい。
- ・企業は人権問題について、より強い対応を求められていることを再認識。労使での定期的な対話も人権侵害の予防、軽減、是正には有効な手段になると認識した。

## ■ 自社商品購買運動

### ■ 赤ちゃん本舗労働組合「お買い物キャンペーン」とロフト労働組合「2023年冬のお買い物キャンペーン！」の共同開催

開催期間	赤ちゃん本舗労組：2023年12月 1日（金）～2024年1月31日（水） ロフト労組：2023年12月 1日（金）～2024年1月 8日（月）
取り組み内容	・ロフトで10,000円コース ・赤ちゃん本舗で10,000円コース ・両方応募でもれなく2,000円分の共通商品券 ・エピソード追記でカタログギフト
成果と課題	応募総数、対象購入金額ともに前年度に労連全体で取り組んだ活動よりも伸ばすことができた。同じモールに出店している店舗が多いため、相互利用を促すことにより同じグループの仲間であるということの連帯感の醸成につながった。お互いの情報宣伝媒体に委員長が相互に挨拶を掲載することで通常の活動とは異なるインパクトがあり、目につききっかけとなった。



### ■ 全丸大労働組合「お買い物キャンペーン2024」

開催期間	2023年12月 1日（金）～2024年 1月31日（水）
取り組み内容	丸大でのお買い上げレシートで応募（1万円、5千円、3千円、Wチャンス賞）
成果と課題	【成果】 応募人数、応募総数、購入金額のすべてで2023年度のキャンペーンを大きく上回ることができた。 【課題】 参加人数は年々増加し定着してきたが、組合員の3分の2にまだ参加してもらえていない。



### ■ ヨークベニマル労働組合「We are the ヨークベニマル」

開催期間	2023年12月 1日（金）～2024年 1月 7日（日）
取り組み内容	ヨークベニマルでの買い物レシートを集めて応募（7万円・5万円・3万円・Wチャンス・ゾーン賞）
成果と課題	コロナ禍においては「We are the ヨークベニマル」キャンペーンの景品を各ゾーン単位で企画してきました。行動指針も緩和され、今回より全体イベントとして景品を企画。コロナ禍で築き上げたゾーンの特徴を活かして「ゾーン賞」を新設し、1人でも多くの組合員さんが参画して頂けるようWチャンスを拡大。例年よりも短期間での取組でしたがレシート合計金額で1億円を突破することができました。



### ■ シェルガーデン労働組合「2023年労使共済BUYガーデンキャンペーン」

開催期間	2023年12月 1日（金）～2023年12月31日（日）
取り組み内容	3,000円1口で申し込み 応募用紙によるレシートキャンペーン
成果と課題	【成果】 649口・約204万円の応募があり、年末の売上に大きく貢献できた。 【課題】 キャンペーンに対し、毎回応募のある店舗と全く応募の無い店舗がはっきりしており、各店職場委員から従業員への開催告知、参加メリットの伝達に差が出来てしまっている。



### ■ イトーヨーカドー労働組合・ヨーク労働組合「BUYキャンペーン2024」

開催期間	レシート対象期間：2024年 7月 1日（月）～2024年 7月31日（水） 応募期間：2024年 7月 1日（月）～2024年 8月 3日（土）
取り組み内容	イトーヨーカ堂で買い物をしたレシートを集めて、専用応募封筒に入れ、必要事項を記入のうえ応募する。応募者の中から抽選で応募コースに応じた賞品をプレゼントする。
成果と課題	【成果】 ・1カ月間と短い活動期間にも関わらず「BUYキャンペーン2023」よりも参加人数および参加率を向上させることができた。 ・PR大賞を設けたことにより支部役員が「どうしたら多くの組合員に参加してもらえるのか」を改めて考える機会となり、組織強化を図ることができた。 【課題】 ・目標として掲げた全組合員応募には至らなかった。（IY参加率14.78%） ・活動を通じて本来の目的である「イトーヨーカ堂で働く従業員が自社で買い物をする企業風土」の醸成、「お客様の立場で買い物をすることで、お客様に喜ばれ、信頼される店作り」に繋げることができてない。



## ■ 階層別ワークショップ

### ■ 新任役員研修会

	第1回	第2回
開催日程	2023年11月13日（月）～14日（火）	2024年 5月29日（水）～30日（木）
会場	UAゼンセン中央教育センター「友愛の丘」	
参加人数	5名（IY：5名）	10名（IY：3名、7FS：3名、LFT：3名、SHG：1名）
内容	講義：「労働組合の基本」「労働組合の歴史と運動の理念」「労働組合と労働関係の法律」「労働組合と政治活動」 視聴学習：「立ち上がる女子労働者」 演習：「グループディスカッション」「かるた学習」 行動学習：「記念館見学」	



### ■ 政治活動研修会

目的	政治活動をけん引するリーダー（副委員長、またはそれに準ずる政治担当役員）を対象に日常的政治活動の推進、またその実現を目指す。
----	--

#### ■ 参加者

NO.	単組名	組合役職	氏名	NO.	単組名	組合役職	氏名	NO.	単組名	組合役職	氏名
1	IY	中央執行副委員長	宇野典孝	6	MD	中央執行副委員長	小林洋一郎	11	LFT	書記長	原田健司
2	7FS	中央執行副委員長	三久保真司	7	SAN	中央執行副委員長	武山玲子	12	SHG	副委員長	佐藤大輔
3	7FS	中央執行副委員長	坂本晃都	8	YB	中央執行副委員長	渡邊克憲	事務局	IY	中央執行副委員長	佐藤洋一
4	YO	中央執行副委員長	榎崎智史	9	YB	中央執行書記長	高橋寿幸	事務局	労連	事務局長	小鷲良平
5	YO	中央執行副委員長	川上孝司	10	AH	中央執行副委員長	木島和也	事務局	労連	事務局次長	中川勇樹

	日程	会場	内容
第1回	2023年12月13日（水）	組合会議室（第一麹町ビル）	・ワークショップの狙い ・第27回参議院議員選挙活動計画について ・その他
第2回	2024年 2月13日（火）	参議院議員会館	・参議院議員会館にて組織内議員との懇話 ・国会見学 ・その他
第3回	2023年 5月20日（月）～5月21日（火）	UAゼンセン中央教育センター「友愛の丘」	・組織内議員との意見交換 ・労働組合と政治活動の歴史 ・その他
第4回	2024年 7月12日（金）	茨城県県南生涯学習センター	・TM活動の進捗状況と今後の活動について ・その他



第1回



第2回



第3回



第4回



**【ダイバーシティ&インクルージョン研修】**

開催日程	2024年 7月29日（月）～30日（火）
開催地	北海道北見市
参加人数	10名（IY：4名、7FS：1名、YO：3名、AH：1名、SHG：1名）
内容	・障がい者雇用学習    ・UAZ産業政策について    ・グループワーク



## 海外ステップアップセミナー

開催日程	2024年 5月16日（木）～18日（土）
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国際的な視点を養い、海外流通および経済・政治・文化事情を実感すると共に、見識を広げることで、今後の労働組合が果たすべき役割をそれぞれの視点で導き出すこと、そして自らが具体的な行動につなげていく。</li> <li>■これまで以上に、グループを取り巻く変化が著しくなるなかで、セブン&amp;アイ労連としての取り組みを通じて人材のネットワークを構築し、将来を見据えた労連としての人的な結びつきの強化を目指す。</li> </ul>
視察先	台湾

### 参加者

NO.	単組名	組合役職	氏名
1	IY	中央執行委員	佐藤 誠
2	IY	中央執行委員	毛頭 佳子
3	IY	中央執行委員	橋本 友
4	IY	中央執行委員	関 洋亮
5	7FS	中央執行副委員長	三久保 真司
6	YO	中央執行書記長	千田 ゆき子
7	YO	中央執行書記次長	三浦 郁子
8	YO	中央執行委員	水沢 直美
9	YB	中央執行委員	村上 良之
10	AH	中央執行委員	松永 隆
11	AH	中央執行委員	前田 昌宏
12	LFT	書記長	原田 健司
13	LFT	書記次長	三浦 恵美
14	SHG	執行委員	窪田 和可子
団長	労連	会長	渡邊 健志
副団長	労連	副会長	中野 健治
事務局	労連	事務局長	小鷲 良平
添乗	セブントラベル		萬羽 史朗

### 参加者感想(一部)

- 単組だけの活動では得られない様々な知見を得ることができること、また、人とのつながりは何にも代えがたいということ。たった3日間ではあったが、3食共にしたことで、数年一緒に活動してきたメンバーのように感じることができた。私個人としてはもちろん今後も可能な限り労連の活動には参加したいと考えているが、ここ数年で新たに中執にいられた役員に関しては、機会があれば決して逃すことなく、積極的に活動に参加するように促していきたい。
- 2泊3日の研修を通し、現地で台湾を直に感じることで、他国での商売を行うことの大変さ、日本のすばらしさを再認識した。台湾金融労連とのディスカッションでは、対話の内容、質疑応答等、組合活動への想いの強さを感じた。吸収・合併の際に簡単に雇用が切られてしまうことに対する話を聞いた時、「日本は一定の安定を手に入れてしまった為、組合活動に対する想い・必要性が落ちているのではないか」と感じた。また、労連の各メンバーと寝食を共にすることで交流を深めることができ、今後の社会人人生、組合活動を行う中での財産となった。他の中央執行委員にも他単組との交流の機会には積極的に参加して欲しいと思う。
- 視察全体を通して、自分たちが恵まれている点やまだまだ足りない点など文化の違いや考え方の違いについて一過性のものでなく、ずっと考えさせられることが多かった。また3日間同行したグループ労連の方々の会社、仕事の話など知らないことが多かったので改めて参加できて感謝している。カスハラに対してすぐに形になる成果を上げられなかったとしても、今後の組合活動の中でカスハラに対する知識や対応策、またカスハラに繋がるような行動はどうか、それを防ぐためにどうしたらよいかを自分自身はもちろん組合員全員で考えていく活動に繋げていきたい。

### 事前勉強会

開催日時	2024年 4月10日（水） 14:00～17:00
会場	組合会議室（第一麹町ビル）

### 行程

日付	都市	交通機関	時間	スケジュール
1 5月16日 (木)	羽田空港国際線		07:00	羽田空港国際線第3ターミナル集合 チェックイン
			08:55	空路、台湾へ向け出発(直行便/予定飛行時間3時間40分)
	東京(羽田)	JL-097	11:35	台湾・松山空港到(ターミナル1)着 入国手続き
				専用車
	台湾(松山)		昼食	
			14:00	訪問先:台湾金融労連(全国金融業工連聯合總會)
			16:10	会議終了後、赤ちゃん本舗台北事務所へ移動
			16:25	赤ちゃん本舗台北事務所訪問
			17:10	赤ちゃん本舗台北2号店視察 アカチャンホンポ明確店
			18:00	赤ちゃん本舗台湾事業について(講義)
		19:30	夕食懇親	
2 5月17日 (金)	台北市	台湾高速615	08:46	台湾高速鉄道(TAIWAN HIGH SPEED RAIL)にて台中市へ
			09:46	赤ちゃん本舗LaLaport台中市
	台中市		昼食	
			昼食後、視察:『宮原眼科』	
	台北市	台湾高速242	17:08	台北市へ移動
			専用車	
			17:54	視察:スーパーマーケットチェーン【全聯福利中心】
			19:00	夕食懇親
			21:30	ホテル着
	3 5月18日 (土)	台北市		08:30
09:00				視察:【国立故宮博物院視察】 視察:【誠品生活】
			11:00	昼食
			12:00	台北 松山空港着
			14:20	空路、帰国の途へ(直行便予定所要時間/3時間25分)
羽田			18:35	羽田空港到着・解散



台湾金融労連との情報交換会



台湾AH講和



台湾AH事務所



台湾金融労連との情報交換会

## 国内ステップアップセミナー

開催日程	2024年 6月 5日 (水) ~ 7日 (金)
視察先	島根県松江市、岡山県真庭市

### 事前勉強会

開催日時	2024年 5月15日 (水) 14:00~17:00
会場	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

### 参加者 13名

単組名	組合役職	氏名	単組名	組合役職	氏名	単組名	組合役職	氏名
IY	中央執行委員	丸山 亮人	7FS	ブロック長	上田 恵治	LFT	執行委員長	吉川 雅也
IY	中央執行委員	鎌田 理佳子	YB	中央執行書記長	高橋 寿幸	労連	事務局長	小鷲 良平
IY	中央執行委員	嶋田 千尋	AH	中央執行副書記長	黒田 大吾郎	労連	事務局次長	中川 勇樹
IY	支部執行委員長	佐藤 優	AH	中央執行委員	新谷 育子			
IY	支部執行委員長	福士 和	LFT	執行委員	北山 大地			

### 参加者感想

- 今回の企業視察では企業努力はもちろんのこと、利益を出さなければならないという営利企業であり、私達の仕事でも業種や内容は全然違っても利益を出すことは一緒のことなので、今回の経験が今後の仕事に活かせたら視野は広がると感じました。自身のこれからの取り組みとして、支部役員、組合員を巻き込みながら組合活動に積極的に参加し、色々違った観点から視野を持ち、周りとのコミュニケーションを大事にしていきたいと思います。
- 今回の視察で、取り組みを行っている方々に共通していたのは「自分のまちを良くしたい」という気持ち。同じマインドを持っている者同士の方向性を合わせるための、明確なゴールを示すという点において、リーダーの資質が必要になってくる部分も研修を通じて考えるようになった。まちづくり、や地方創生の取り組みにおいては、個の力では弱いことも、皆で同じ方向を向いて実施することで強い力となる、組合活動の前提とも通ずるものを感じ、非常に有意義な研修であった。
- 自治体を取り巻く環境を知り、町全体の取り組みを間近に感じることができた貴重な3日間でした。いざ、我々が生活する都市部に置き換えると、どうだろう？自分の働く会社では何が出来る？といった疑問に直面する機会が多々ありました。グループ会社の皆様と同じ目線で、自治体が抱えている問題を認識し、学びを得られたことでSDGsへの認識も深まったと感じます。まずは、自分にできることを見つけて熱をもって実践していきたいと思います。



事前勉強会



銘建工業株式会社



松江バイオマス発電株式会社



松江バイオマス発電株式会社



出雲大社にて集合写真



株式会社まっくる



松江バイオマス発電株式会社



真庭市

## ■ ボランティア活動

### ■ ハートフルサタデーボランティア活動 ■

開催日	2023年10月28日（土）
会場	ビッグパレットふくしま
参加者	25名（労連のみ）（IY：10名、7FS：4名、YO：4名、AH：2名、LFT：2名、SHG：1名、労連2名）
活動内容	献血協力、会場設営、その他 ・献血活動の報告 献血活動参加者 399名（791本/200ml） 受付人数 446名 骨髄バンク登録 42名

#### 参加者感想

- 大規模な集合イベントとして社会貢献活動を実施し、大きな大義を感じ、参加してよかったなと思った。
- コロナ禍で献血不足になっている状況を献血にきて初めて知った。困っている人を助けるためにも今後も献血活動に参加したいと思った。



### ■ かすみがうらマラソンボランティア ■

開催日	2024年 4月21日（日）
会場	土浦・川口運動公園
参加者	41名（IY：7名、7FS：4名、YO：1名、YB：18名、AH：3名、LFT：2名、SHG：1名、労協3名、労連2名）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説トイレ前の誘導</li> <li>・ランナー荷物置き場管理</li> <li>・環境美化、ランナー応援</li> <li>・会場撤収作業献血協力、会場設営、その他</li> </ul>

#### 参加者感想

- 困っている人を助ける意識を常にもっていたい。
- ボランティア活動を通して充実感を得ることができた。仕事仲間にも得た経験を伝えていきたい。



## 富士山清掃活動ボランティア

開催日	2024年 4月25日（木）～26日（金）
会場	山梨・青木ヶ原樹海
参加者	15名（IY：1名、7FS：2名、SAN：2名、YB：2名、AH：2名、LFT：2名、労協3名、労連1名）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■講演（富士山クラブの活動について）</li> <li>■グループワーク「社会課題解決に向けた身近な取り組み」</li> <li>■清掃活動</li> <li>■ガイドウォーク「樹海ガイドウォーク」</li> </ul>

### 参加者感想

- 初めての参加でしたが、たくさんの学びがあった二日間でした。初日に富士山のことについて知らないことをたくさん教えていただき、次の日に清掃活動をしたのでとてもよかったです。昨年のボランティアの話を単組内で報告を聞いた時から絶対に参加したいと思っていたので、参加出来て本当に良かったです。清掃の前に富士山のゴミ問題を荒井さんから聞いて、知らないことばかりだったので、とても衝撃を受けました。話を聞いてから清掃活動に入ったので、やはりゴミが多いなとは感じました。2時間で今回のゴミの量ってことは、やはりボランティア活動は継続的に続けていかなければならないものなんだなあと思いました。富士山の清掃を通してこれからも意識をもって日頃生活していきたいと思いました。
- 最近のゴミでコンビニの袋やパッケージなどはだいたい溶けているというか分解されるような素材になっているが、奥の方にあるゴミはそのまま残っているものが多い。ペットボトルも多かった。普段の生活からゴミが出ない生活を意識しないといけないと思った。自分ができることとしては、ポイ捨てをしない、ゴミの分別、衣類や家電のリサイクル、食品ロスを出さないことに取り組んで行こうと思う。基本的な市町村のルールは必ず守る。守れば、町は汚くならないし、治安も良くなり、快適に過ごせると思う。自然と共存していくためにも、現状の環境問題の知識を付けていきたいと思う。



## 健康経営「スポGOMI」の取り組みについて セブン&アイ・フードシステムズ労働組合とロフト労働組合の共同企画

開催日	2024年 4月 3日 (水)	会場	江東区・Kummy's BBQ	参加チーム数・人数	22チーム・103名
-----	-----------------	----	-----------------	-----------	------------



開会の言葉  
(7FS労組北山執行委員長)



集合写真



選手宣誓



競技エリア

燃えるごみ	100g→5pt
燃えないごみ	100g→10pt
びん・カン	100g→15pt
ペットボトル	100g→30pt
たばこの吸い殻	100g→100pt

※1ptでもポイントが貯まります

ポイント表

「スポGOMI」という言葉をご存知でしょうか？ スポGOMIとは、企業や団体が取り組む従来型のごみ拾いに、「スポーツ」のエッセンスを加え、今までの社会奉仕活動を「競技」へと変換させた日本発祥の全く新しいスポーツです。一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブが主催し、予め定められたエリアで、制限時間内に、チームでごみを拾い、ごみの量と質でポイントを競い合います。2024年4月3日に、セブン&アイ・フードシステムズ労働組合とロフト労働組合で合同開催、合計103名、ご家族を中心に22チームの参加者が有明の会場に集結しました。

開会では自ら手を挙げてくれた組合員のお子様たちが立派に選手宣誓を行いました。

### <競技について>



ゴミ拾いの様子①



ゴミ拾いの様子②



ゴミ拾いの様子③

競技の実施時間は午前10時30分から11時45分の計75分間。開始前にはルール説明やチーム内での作戦タイムがあります。競技エリアやポイントも事前に定められており、どこのどのような種類のゴミを攻めていくかをチーム内で話し合うことが重要です。

競技が始まると全チームがそれぞれの作戦に沿ってエリア内に散っていきます。有明地域は海沿いのため普段から風が強く、かつ大型トラックの走行量も多い地域。幹線道路沿いでは傘や布製品などの飛来物に加えて、トラックから落下したような大きなゴミや、飲食した後に袋に入れた状態の弁当ガラのようなゴミが目立ちます。

また、駅近くでは人目から避けるように、意図的に植え込みや道の隙間にタバコの吸い殻が大量に捨てられています。これらのゴミは陸上の環境汚染の原因となるだけでなく、雨や風によって海に流れ着き、海洋ゴミとなります。それらを海洋生物が体内に取り込み、食物連鎖の末に我々人間にもたどり着くことがあります。陸上のゴミ拾いは、海洋汚染の原因除去にもつながるのです。

ゴミ拾い後は計量するまでが競技。燃えるゴミ、燃えないゴミ、ビン缶、タバコの吸い殻などをしっかり分別して計量します。競技中にしっかりと分別していたチームは計量もスムーズ、分別していなかったチームはここで大きくタイムロスをしてしまいます。ここでも競技中の作戦が結果を左右します。一見拾ったゴミが少なそうなチームでも、重量のあるゴミを拾っていたり、軽くてポイントの高い種類のゴミを大量に拾っていると必然的に総合ポイントも高くなります。



計量①



計量②



表彰①



BBQ①



BBQ②



表彰②

### <計量後の2単組の交流会>

競技終了後はお待ちかねのバーベキュー大会。あいにくの雨の中でのゴミ拾いは想像以上に重労働、消耗した体力を、美味しいお肉や野菜、飲み物で補給します。会話の内容はゴミ拾いのことから自然とお互いの仕事や家族の話へ。この日に初めて会った組合員同士もすぐに打ち解けて会話がはずみます。今回のバーベキューでは2組合の組合員同士の交流ができました。

バーベキュー大会も盛り上がりを見せる頃に表彰式の開催です。今回は3位にデニズテーブルパンケーキミックス、2位に亀の子束子詰め合わせセット、1位にはデニズテーブルおすすめ詰め合わせセットと、各賞の発表時には盛り上がりで拍手がかかります。また、それ以外にもセブン&アイグループ労連にちなんで、7位には労連特別賞、燃えないゴミとタバコの吸い殻を最も多く拾ったチームにはMVG賞（Most Valuable GOMI賞）が授与されました。スポGOMIは競技なので順位はつきまです。とはいえ、「ゴミ拾い」という共通の活動を共に過ごした者同士、お互いの榮譽を称え合って拍手を送り合いました。

### <活動を終えて>



ゼッケン



ゴミ全体



ゴミ回収



開会の言葉

イベント終了後、集めたゴミは正式なルートで自治体に引き渡して処分をしていただきます。ゴミを集めるだけ集めても、それを最終的に処分することができなければまた街にゴミが戻ってしまいます。

「社会貢献」、「健康増進」、「ワークライフバランス実現」、「チームワーク醸成」、「交流によるエンゲージメント向上」、といった様々な要素を融合させたイベントとして2単組合同で開催し、今回あいにくの雨天となりましたが、総計69.7キログラムのゴミが集まり、明らかに有明の街が綺麗になりました。

参加者からも、「今まで見落としていたが、街中にこんなにゴミが落ちていることに気づいた」、「早速従業員と一緒に店の周りの清掃活動にも取り組みたい」、「グループ他社の方と仕事の話もでき刺激になった」、「子どものゴミに対する意識が向上した」などのコメントも聞くことができ、「ゴミ拾いをしている姿を街の人にも見ていただき、ゴミを捨てる人が1人でも減ればいいと感じた」といった声もありました。

活動後、ゴミ拾いというシンプルな活動だからこそ、自分自身が目の前の問題を自分事として捉え、自ら行動を起こすことで周りを巻き込み、解決していく。このように自分事意識を醸成することにもつながっていることに気づきました。

2024年度セブン&アイグループ労働組合連合会

# 加盟単組開催「イベント・交流会企画」特集



開催単組：IY・YO

企画名：本部イベント  
「スポGOMI・BBQ」

参加人数：180人



開催単組：7FS・YO・LFT

企画名：地曳網

参加人数：94人



開催単組：7FS・LFT

企画名：森づくり

参加人数：36人



## 研修



単組名：YB  
 企画名：セカンドライフ  
 プランセミナー  
 参加人数：47人



単組名：YB  
 企画名：ユニオンリーダー  
 セミナー  
 参加人数：15人



## 社会貢献活動



単組名：IY  
 企画名：九十九里浜ビーチクリーン(海岸清掃活動)  
 参加人数：75人



単組名：IY  
 企画名：姫路城清掃  
 参加人数：14人



## スポーツ企画

### ロフト労働組合『文化スポーツ支援金』制度



#### 一制度概要一

音楽ライブ鑑賞、観劇、書籍購入、スポーツ大会への出場など、ありとあらゆる『文化』を通じて自己研鑽に励む組合員を支援するための制度です。年間お一人様1回3,500円まで支援しており、ロフトではアニメや漫画の知識が仕事に活かせるので、漫画の購入も支援対象にしています。最近では健康への関心も高まる中、マラソン大会やフィジークなどのスポーツ大会に関する申請が増えており、この制度を活用しながら自己研鑽に励む組合員が年々増加中です。



参加組合(労連内)：7FS・YO・SHG  
 企画名：UAゼンセン  
 東京都支部  
 フットサル交流会  
 参加人数：12名



参加組合(労連内)：YO・LFT・SHG  
 企画名：相撲観戦 参加人数：20人

## 体験

単組名：YO

企画名：くだもの狩り(サクランボ・ぶどう)

参加人数：74人



単組名：IY 企画名：国会見学 参加人数：80人



単組名：IY

企画名：ファミリー  
職場見学会

参加人数：62人



## レクリエーション



単組名：AH 企画名：ビアパーティーinオリンピア 参加人数：28人



単組名：AH 企画名：UAゼンセン大阪府支部 ボウリング大会

参加人数：24人



単組名：IY・7FS・YO  
AH・LFT・SHG

企画名：UAゼンセン  
神奈川県支部  
スペシャルイベント

参加人数：140人



今回ご紹介した単組のイベント活動はごく一部の内容です。

今後も労連内でアイデアを共有しながら活発なコミュニケーションの促進に取り組みましょう。




## なないろVol.38 編集委員会編集後記

### ■なないろ編集委員会開催報告

	日 程	内 容
第1回	2023年11月 9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換（単組情宣活動について）</li> <li>・2024年度発行計画の策定</li> <li>・2024年度活動計画の確認</li> </ul>
第2回	2024年 4月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告紙面構成について</li> <li>・労連活動報告号役割分担について</li> </ul>
第3回	2024年 7月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告内容の共有と確認</li> <li>・2024年度年間活動報告の構成について</li> </ul>


名 前	上中 瑠英	
所 属	イトーヨーカドー労働組合	
Vol.38の発行に当たった感想	各単組の活動が見える年間活動報告号になっています。自単組の活動に活かしていただければ幸いです。	

名 前	三久保 真司	
所 属	セブン&アイ・フードシステムズ労働組合	
Vol.38の発行に当たった感想	労連としてのスケールメリットを生かし、労連に集う仲間が少しでも横の繋がりを感ずることができるようになりました。	

名 前	三浦 郁子	
所 属	ヨーク労働組合	
Vol.38の発行に当たった感想	どうすれば見てもらえる情宣誌なるか、組合活動に参加してみたいなと思っていただけの方が一人でも増えればうれしいな！などと思いながらみんなで作りしました！	

名 前	黒田 大吾郎	
所 属	赤ちゃん本舗労働組合	
Vol.38の発行に当たった感想	なないろを読む層は誰なのか？何を届けたいのか？意見を出し合い、各単組の役に立つ情宣誌を意識しました	

名 前	原田 健司	
所 属	ロフト労働組合	
Vol.38の発行に当たった感想	同じグループ労組とはいえ、単組ごとに広報の考え方も違えば言葉使いも異なる。自分自身が“井の中の蛙”になっていたことを痛感しました。	

名 前	太田 奈穂	
所 属	シェルガーデン労働組合	
Vol.38の発行に当たった感想	編集委員会は微力ではありましたが「なないろ」という大きな情宣誌の制作に携わることができ光栄でした。	

名 前	中川 勇樹	
所 属	セブン&アイグループ労連	
Vol.38の発行に当たった感想	どうすれば単組活動に活かす労連の情宣誌が作れるか委員会内で検討してきました。労連活動参加者の声を取り入れることにこだわりました。	



# セブン&アイグループ労働組合連合会第46回定期大会開催について

日程：2024年9月27日(金)13：00～17：00 会場：伊藤研修センター

## 代議員について

7月19日(金)開催の第7回中央執行委員会にて労連規約に基づいた代議員数をもとに会場にご参集いただき、大会議案についてご審議いただきます。

## 傍聴について

代議員登録と同時に傍聴希望についても受け付けます。  
※会場の定員を超えた傍聴希望があった場合はお断りする可能性があります。

日頃、加盟組合の皆さんには労連活動に対するご理解とご協力をいただきありがとうございます。また、2024年度の活動も様々な環境変化へ対応しながら進めてまいりました。

第46回定期大会の開催に向けて、議案の確認をはじめ、機関会議を通して進めています。

## 活動方針組み立てに向けた思い

いつの時代も、様々な変化が起こっても「涸れた井戸から水は汲めない」の考え方に常に立ち返りながらグループの成長を力強く支えることのできる強い組織づくりに向けた活動に挑戦していきます。大きな変革を迎える1年になりますが、環境変化を正しく認識し、加盟組合の皆さんの積極的な参加・参画につながるよう第46回定期大会での活動方針の提案に向けた協議を進めてまいります。また、今年度はグループの歴史や創業者の思いが伝承されている伊藤研修センターにて集合形式で開催いたします。単組ごとに代議員をご派遣いただき、ご対応いただきますようお願いします。

## 第46回定期大会告示

労連規約第15条ならびに議事運営細則に基づき、下記の要領にて第46回定期大会を開催することを通知する

— 記 —

と き：2024年9月27日(金)

と ころ：伊藤研修センター

### 内 容

#### 【報告事項】

・2024年度活動報告 ・2024年度会計報告

#### 【議案】

- 第1号議案 「2025年度活動方針」
- 第2号議案 「規約の改定」
- 第3号議案 「2025年度活動予算」
- 第4号議案 「特別会計の設置」
- 第5号議案 「2025年度中央役員選出」
- 第6号議案 「顧問の委嘱」
- 第7号議案 「功労者表彰」
- 第8号議案 「第27回参議院議員選挙 必勝行動決議」
- 第9号議案 「上部団体役員の承認」
- 第10号議案 「加盟組合の脱退」

## 2025年度中央役員選挙告示

労連規約第27条ならびに選挙細則に基づき、選挙管理委員会を設置し、下記の要領にて2025年度中央役員の立候補を受け付ける

— 記 —

受付期間：2024年9月9日～17日

方 法：立候補ならびに推薦候補の二方法とする

手 段：加盟組合を通じて所定様式をもって届け出る

選挙管理委員会



Vol.38

令和6年9月10日発行

東京都千代田区二番町8-8 (03) 6238-3941

発行人/渡邊健志 編集人/小鷺良平

セブン&アイグループ労働組合連合会